

第5回修了考査・論文式の考査のテーマの公表について

社団法人 日本不動産鑑定協会
修了考査委員会
委員長 村木 信爾

第5回修了考査の論文式の考査に係るテーマを下記のとおり公表します。

第5回修了考査の受験者は、論文式の考査の受験方法及び出題対象をよく確認のうえ、論文を作成、提出して下さい。

なお、修了考査は、論文式の考査と口述式の考査があり、両方を併せて受験することが必要です。

記

第5回修了考査・論文式の考査のテーマ

あなたが自ら行った継続家賃の鑑定評価について、以下の点を述べなさい。

- (1) 対象不動産の賃貸借契約の内容についてどのように確認し確定したか。
- (2) 個別分析及び市場分析の結果と各手法の適合性について、どのように関連付けて各試算賃料が有する説得力に係る判断をしたか。

(注)

論述式の考査における出題対象は、次のとおりです。

今回のテーマに当たる細分化類型等の案件を対象として解答して下さい。

- (1) 修了考査の初回受験者は、実務修習・一般実地演習において履修した23案件
- (2) 修了考査の複数回受験者は、実務修習・一般実地演習において、今回の修了考査の再受験のために再履修した13案件

論文式の考査の受験方法

論文式の考査は、協会ホームページに公表された論文式の考査のテーマを基に、各自論文を作成のうえ協会業務二課宛に提出します。次の要領にそって、論文を作成、提出して下さい。

1. 解答論文の提出締切日 平成24年1月23日(月)

原則として郵送とし、当日消印有効。宅配便の場合、締切日までに必着。
持参不可。(持参しても受理しませんのでご注意下さい。)

2. 解答論文の提出先及び提出方法

解答論文は、社団法人日本不動産鑑定協会(以下、「協会」という。)業務二課宛に、原則として書留又は簡易書留にて送付。送付先は、次のとおりです。

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル

社団法人 日本不動産鑑定協会 業務二課 宛

TEL 03-3434-2301(代)

提出方法として、送付用封筒は、角型2号(日本工業規格A4サイズが入る)を使用し、解答論文は折らずに送付のこと。

送付封筒の表書きに、朱書きにて「修了考査解答論文在中」と記載。また、封筒に氏名、受験番号及び修習生番号は必ず記載のこと。

解答論文の送付に当たっては、1名1封筒により送付して下さい。同一の封筒等に複数名の論文を封入してはなりません。

3. 解答論文に係る指定事項及び書き方

解答論文の指定事項等は、次のとおりです。

判読不明な解答論文は、修了考査対象外としますのでご注意下さい。

a. 指定事項

ア. 文字数800字以上1000字以内。

(解答論文の題名、氏名及び受験番号等は文字数には含まないものとする。)

イ. 解答論文は、日本語文書作成ソフト(ワード、一太郎等)を搭載したパソコンやワープロ等により作成のこと。手書きによる作成は不可。

ウ. 必須記載事項は、解答論文、受験番号、氏名及び修習生番号

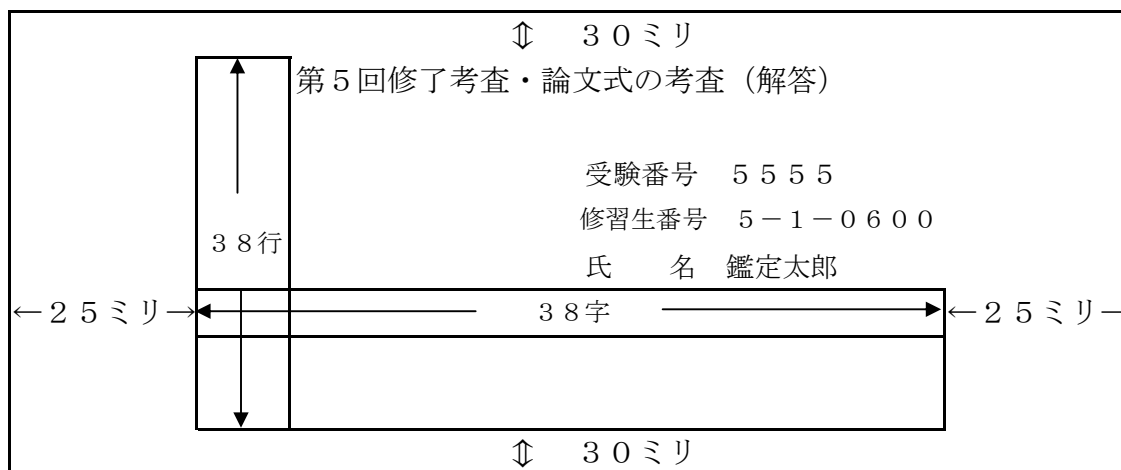
エ. 用紙は、A4用紙1枚、白色上質紙(わら半紙等は不可。)、書式は横書き。

b. 書き方

書式は横書き以外の指定は行いませんが、次の書式見本を参考に、解答論文を作成するようにして下さい。

【 書式例 】

A 4用紙1枚、横書き、文字の大きさは12ポイントを標準として、「第5回修了考査・論文式の考査（解答）」との題名を付し、受験番号、修習生番号及び氏名を記す。



※ 書式設定は、目安を表示しています（1行を38文字、38行。用紙の余白幅を上下30ミリ、左右25ミリ）。

4. 論文式の考査に係る注意事項

- a. 他の受験生と同一と認定される論文が提出されたときは両者共に、また、過去の論文と同一の論文と認定される論文が提出されたときは、当該論文を提出した受験生につき、それぞれ修了考査を不合格の取り扱いとします。
- b. 論文のテーマの発表は、ホームページでの公表を原則としていますので、論文テーマに係る通知の遅配、不達等があった場合においても提出締切日に変更はありません。
- c. 書留郵便以外の方法により、解答論文を提出し、遅延又は不送達等の場合には、理由のいかんに係らず解答論文は未提出の取り扱いといたします。

5. 問い合わせ先

(社) 日本不動産鑑定協会 業務二課 電話 03-3434-2301(代)

※ 受付時間は、土日祝日を除く9時から17時までの間（正午から13時までの時間を除く。）

以上